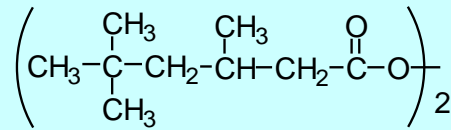


パーロイル® 355 (PEROYL® 355)
~ Di(3,5,5-trimethylhexanoyl) peroxide ~



分子式：C₁₈H₃₄O₄ ， 分子量：314.47 ， 理論活性酸素量：5.09%

特 徴	パーロイル®355は、脂肪族系ジアシルパーオキシドであり、ベンゾイルパーオキシドよりも低温活性で水素引抜き能が低くなる特徴があります。塩化ビニル、アクリル系モノマー、MMAなどの各種ビニルモノマーの重合開始剤として有用です。また60～100℃でのFW、引抜成形用不飽和ポリエステル樹脂硬化剤としても有用です。																																		
品 質	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="4">パーロイル®355-75 (S)</td> </tr> <tr> <td>純度</td> <td colspan="4">75%</td> </tr> <tr> <td>希釈剤</td> <td colspan="4">炭化水素</td> </tr> <tr> <td>外観</td> <td colspan="4">透明液体</td> </tr> </table>						パーロイル®355-75 (S)				純度	75%				希釈剤	炭化水素				外観	透明液体													
	パーロイル®355-75 (S)																																		
純度	75%																																		
希釈剤	炭化水素																																		
外観	透明液体																																		
保 管 温 度	保管温度																																		
	-5℃～-10℃																																		
包 装 形 態	包装形態																																		
	10kg (10kg×1)																																		
一 般 的 性 状	比重																																		
	0.894 (0℃)																																		
半 減 期 及 び 活 性 化 エ ネ ル ギ ー	1 分 間 半 減 期 温 度	1 時 間 半 減 期 温 度	10 時 間 半 減 期 温 度	活 性 化 エ ネ ル ギ ー	頻 度 因 子																														
	112.6℃	76.8℃	59.4℃	128.2kJ/mol	9.43×10 ¹⁸ hr ⁻¹																														
	(ベンゼン中における熱分解：過酸化物濃度：0.10mol/L)																																		
安 全 性	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">圧力容器試験 (消防式)</td> <td>1mmオリフィス</td> <td>10/10</td> </tr> <tr> <td>9mmオリフィス</td> <td>0/10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">熱分析(DSC)</td> <td>発熱開始温度</td> <td>96℃</td> </tr> <tr> <td>発熱量</td> <td>724J/g</td> </tr> <tr> <td>引火点(セタ密閉式)</td> <td colspan="2">71℃</td> </tr> <tr> <td>発火点(ASTM E659)</td> <td colspan="2">457℃</td> </tr> <tr> <td>SADT</td> <td colspan="2">35℃</td> </tr> </table>					圧力容器試験 (消防式)	1mmオリフィス	10/10	9mmオリフィス	0/10	熱分析(DSC)	発熱開始温度	96℃	発熱量	724J/g	引火点(セタ密閉式)	71℃		発火点(ASTM E659)	457℃		SADT	35℃												
圧力容器試験 (消防式)	1mmオリフィス	10/10																																	
	9mmオリフィス	0/10																																	
熱分析(DSC)	発熱開始温度	96℃																																	
	発熱量	724J/g																																	
引火点(セタ密閉式)	71℃																																		
発火点(ASTM E659)	457℃																																		
SADT	35℃																																		
適 用 法 令	<table border="1"> <tr> <td>消 防 法</td> <td colspan="4">第5類第2種自己反応性物質(指定数量：100kg)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">労働安全衛生法</td> <td colspan="4">危険物</td> </tr> <tr> <td colspan="4">通知対象物を含有せず</td> </tr> <tr> <td>PRT法</td> <td colspan="4">第1種並びに第2種指定化学物質を含有せず</td> </tr> <tr> <td>船舶安全法</td> <td colspan="4">酸化性物質類 有機過酸化物</td> </tr> <tr> <td>航空法</td> <td colspan="4">有機過酸化物(航空輸送が禁止されている危険物)</td> </tr> </table>					消 防 法	第5類第2種自己反応性物質(指定数量：100kg)				労働安全衛生法	危険物				通知対象物を含有せず				PRT法	第1種並びに第2種指定化学物質を含有せず				船舶安全法	酸化性物質類 有機過酸化物				航空法	有機過酸化物(航空輸送が禁止されている危険物)				
消 防 法	第5類第2種自己反応性物質(指定数量：100kg)																																		
労働安全衛生法	危険物																																		
	通知対象物を含有せず																																		
PRT法	第1種並びに第2種指定化学物質を含有せず																																		
船舶安全法	酸化性物質類 有機過酸化物																																		
航空法	有機過酸化物(航空輸送が禁止されている危険物)																																		
そ の 他 の 分 類	<table border="1"> <tr> <td>国連分類</td> <td colspan="4">クラス5.2, 国連番号 3115</td> </tr> <tr> <td>CAS-No.</td> <td colspan="4">3851-87-4</td> </tr> <tr> <td>官報公示整理番号</td> <td colspan="4">(2)-629(化審法, 安衛法)</td> </tr> <tr> <td>TSCA</td> <td colspan="4">登録有り</td> </tr> <tr> <td>EINECS</td> <td colspan="4">223-356-0</td> </tr> <tr> <td>ポリ衛協：ポジティブリスト</td> <td colspan="4">登録あり(AS)</td> </tr> </table>					国連分類	クラス5.2, 国連番号 3115				CAS-No.	3851-87-4				官報公示整理番号	(2)-629(化審法, 安衛法)				TSCA	登録有り				EINECS	223-356-0				ポリ衛協：ポジティブリスト	登録あり(AS)			
国連分類	クラス5.2, 国連番号 3115																																		
CAS-No.	3851-87-4																																		
官報公示整理番号	(2)-629(化審法, 安衛法)																																		
TSCA	登録有り																																		
EINECS	223-356-0																																		
ポリ衛協：ポジティブリスト	登録あり(AS)																																		

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データに基づいて作成していますが、記載のデータや評価、危険性等に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

お問い合わせは、peroxide@nof.co.jp までお願いします。